

営繕工事の受注者に対する緊急的注意事項

平成24年5月23日

徳島県県土整備部営繕課

最近の営繕工事において、水道管、電線管等を損傷する事故が発生していることから、各工事現場において、緊急的に次の措置を講じるようお願いする。

○ 土曜・日曜または休日に改修工事等を行う場合の措置

1 この措置は次の工事に適用する

- ① 躯体をはつる工事又はホールインアンカーの穿孔工事等、電線管又は給水管等（以下「埋設配管等」という）を損傷する恐れのある工事
- ② 地盤の掘削又はすきとり等、地中の埋設配管等を損傷する恐れのある工事
- ③ その他支障物件確認書に記載した物件の近傍で行う工事

2 受注者は、土曜・日曜又は祝日に、1に規定する工事を行う場合は次による

- ① 工事箇所について、あらかじめ県の監督員に通知すること
- ② 工事箇所に近接するコンセント、スイッチ、量水器、止水栓又は蛇口等の位置を調査し、機器の位置及び内部の構造から埋設配管等の位置を予測した図面（以下「埋設配管等推定図」という）を作成し、工事の3日前までに監督員に提出すること
- ③ 下請け業者に埋設配管等予想図を交付し、注意を喚起すること
- ④ 万一埋設配管等を損傷した場合に備えて、事前に施設管理者と打ち合わせを行い、電力の供給停止や給水管の漏水が発生した場合に起こりうる甚大な被害（電子データの喪失、実験機器の停止、冷蔵庫の停止による試薬の損傷又は漏水による電子機器の破損等）の有無を確認し、そうした事態が予測される場合には、あらかじめバイパス経路による電力供給を行うなどの措置を講ずること
- ⑤ 工事後に通電の状況や漏水の有無を調査し、埋設配管等の損傷がなかったことを確認した上で退出すること

○ 月曜日の朝礼における注意事項

月曜日の朝礼においては、営繕課からの伝達事項として次のことを周知すること
「過去の事故例を分析したところ、月曜日には、作業員の人身事故や車両事故又は埋設配管を損傷するような事故が最も多いことから、月曜日は特に注意して作業を行うこと」

○ 仮囲い外での作業における注意事項

仮囲いの外での仮設材の積み込みや掘削等、車両を使用する作業を行う場合は、周囲の安全を確保するために、作業員以外に見張りを行う者を配置すること